

学年・教科・担当者	3年 江口 清哉
-----------	----------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	握手 評価しながら聞く 学びて時に之を習ふ	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 話し合いの内容や表現のしかたを評価しながら聞く。 歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 人間の生き方について孔子の考え方を自分たちと関連づけて考える。
	5	情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 熟語の読み方 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性の確かめ方について確認する。 文章の種類とその特徴について理解を深める。 取材した内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。 熟語の読み方について知り、文や文章の中で読んだり使ったりする。 文章における具体と抽象の関係を捉える。 論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。
	6	具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう すいかは幾つ必要？	<ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象の関係について確認する。 根拠となる情報の信頼性を確かめる。 社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成を工夫する。 文法の知識を表現や読解に生かす際のポイントを確認する。
	7	俳句の可能性 言葉を選ぼう 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の特徴について理解を深める。 内容や表現のしかたに着目して、俳句を評価しながら読み深める。 時代や世代による言葉の変化について理解し、相手や場面によって、使う言葉を選ぶ。 和語・漢語・外来語それぞれの語の成り立ちや特徴、語感などを理解し、適切に使い分ける。 豊かな読書生活を築くため、読書に関する活動の計画を立てる。
2	9	挨拶 故郷 聞き上手になろう 論理の展開を整える 慣用句・ことわざ・故事成語	<ul style="list-style-type: none"> 比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 詩に用いられている表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深める。 人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。 小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 質問で話を引き出しながら、対談を行う。 論理の展開に着目して文章を推敲する。 慣用句やことわざ、故事成語など伝統的な言い回しの語義を理解し、その表現の効果を考えるとともに、自分の表現に生かす。
	10	漢字の造語力 人工知能と未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう	<ul style="list-style-type: none"> 「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。 情報の信頼性を確かめながら読む。 文章を批判的に読み、これからの社会に在り方について自分の意見をもつ。 具体的な題材を基に、その価値などについて評価する。 表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。
	11	合意形成に向けて話し合おう 初恋 古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> 複数の情報や発言を結び付けて考える。 立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読し、描かれた情景や心情についてまとめ、交流する。 語句の使い方や表現の効果に注意しながら、「仮名序」を音読し、

		君待つと 夏草	<p>古典の世界に親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しむ。 ・作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。 ・歴史的背景などに注意し、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。 ・文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。
	1 2	誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 ・具体的な情報を基に、自分の考えをまとめる。 ・論理展開などについて推敲したり助言したりして、よりよい文章にする。
3	1	「ない」の違いがわからない？ 本は世界への扉	<ul style="list-style-type: none"> ・問題に取り組み、文法についての考え方、知識を整理する。 ・二つのノンフィクションを読み、紛争地に生きる人々や世界で活動する人々について、考えたことを話し合ったり文章にまとめたりして、本の世界を広げる。
	2	温かいスープ わたしを束ねないで	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者とレストランの母子のエピソードを通して、筆者の考える「国際性」を読み取る。 ・詩に込められた作者の思いを読み取り、これからの自分たちの生き方や可能性について話し合う。
	3	三年間の歩みを振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・場の状況によって言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	定期テスト、漢字テスト、書写など
思考・判断・表現	定期テスト、作文、レポート、話し合い活動など
主体的に学習に取り組む態度	授業中の発言・取組み、ノートなどの提出物など